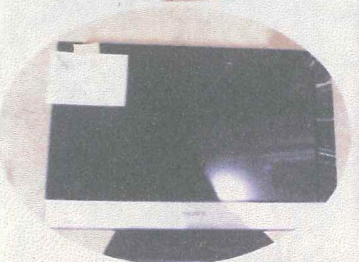


平成29年度 処理困難物の搬入状況

ささゆりクリーンパークに運ばれてきた不燃ごみの中には、機械が壊れてしまったり、怪我や重大事故になるようなごみが混入されることがあるため、人の手で袋の中身を全て確認しなければなりません。
平成29年度上半期、処理上問題となる不燃ごみは83件発見されており、その72%あたる60件が、可児市生活系収集ゴミに混入されたものでした。

ガレキ・コンクリート・漬物石・陶磁器 等	22 件
車部品 バッテリー タイヤ等	13 件
農劇薬類	8 件
消火器	4 件
テレビ	4 件
可燃物（柱・本・産廃プラ等）	4 件
ボウリングの玉	2 件
灯油入（容器・カートリッジ）	2 件
注射器	1 件



報告書

報告日	平成29年9月12日(火)	報告者	大森 茂
発生日	平成29年9月12日(火)	場所	焼却炉室
発生時刻	10時00分頃	機器名称	焼却炉

内 容

現状、可燃ごみには、多くの金物が混じっています。可燃ごみに混じっている金物は、機器やコンベアで引っかかりコンベアを停止させたり、破損させる原因となっています。

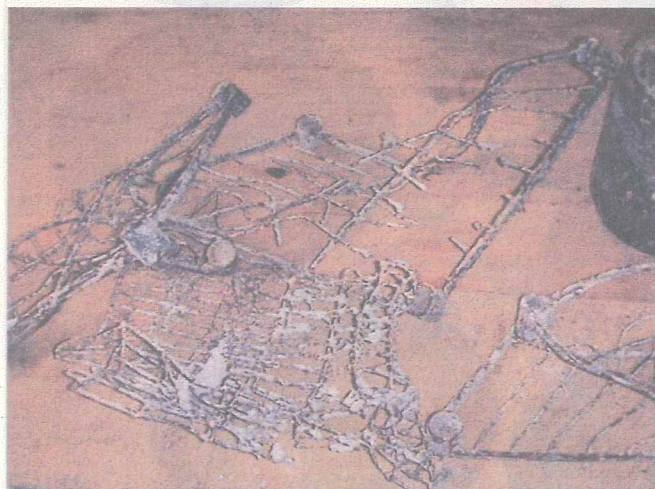
大きな金物として、ヤカン、鍋、ビデオデッキ、鉄アレイ等が混じっている場合もあります。



可燃ごみに混じっていた金物(約15kg/日)



可燃ごみに混じっていた金物



スチール本棚



水筒